



MIKIGYO CO.,LTD.

第51期 中間株主通信

平成24年1月1日から平成24年6月30日まで

美樹工業株式会社

証券コード：1718

経営理念

信用の高揚10ヶ条

- 1 経営方針には全員が参画し 経営計画は必ず達成する会社
- 2 お客さまから満足と信頼をいただき お客さまに感動を与える会社
- 3 社会に責任をもち社会に容認される会社
- 4 情報を共有し情報を開示し 経営の透明性を誇る会社
- 5 地域に奉仕貢献し地域に密着した会社
- 6 環境問題に真剣に進歩的にとり組む会社
- 7 脱請負を目ざし 企画事業 提案受注を目ざす会社
- 8 礼儀作法 規則 約束を守り 社格の向上に努める会社
- 9 相互信頼と切磋琢磨が共存する会社
- 10 無事故 無災害を継続する会社

人と社会に選ばれる美樹工業を目指します。

平素は当社グループ事業に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第51期第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における建設業界におきましては、住宅エコポイント制度の再開の効果などから住宅着工戸数が持ち直しつつあるものの、民間設備投資の低迷から受注環境は依然として厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、前連結会計年度に引き続き企画・提案営業の強化による受注活動に努めました。

以上の結果、当社グループの業績につきましては、連結子会社であるセキスイハイム山陽株式会社において戸建住宅の売上が順調に推移したものの、前連結会計年度の繰越工事高の影響により当社の建築土木工事の売上が減少したこと等か

ら、連結売上高は前年同期比1.1%減の12,425百万円となりました。

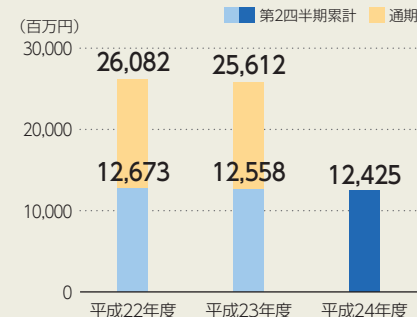
利益につきましては、住宅事業セグメントにおいて販売費及び一般管理費が増加したものの、同セグメントにおいて売上が増加した影響から、連結営業利益は前年同期比6.9%増の574百万円、連結経常利益は前年同期比5.4%増の547百万円となりました。また、連結四半期純利益につきましては、前連結会計年度に資産除去債務会計基準の適用に伴う特別損失を計上した影響から、前年同期比34.6%増の253百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

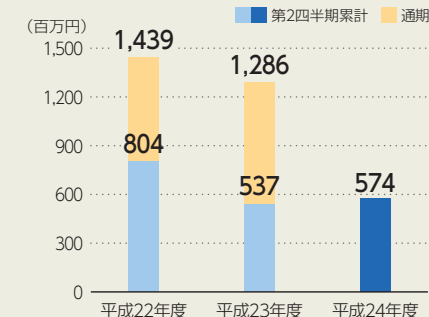
取締役会長 **三木茂克**

財務ハイライト

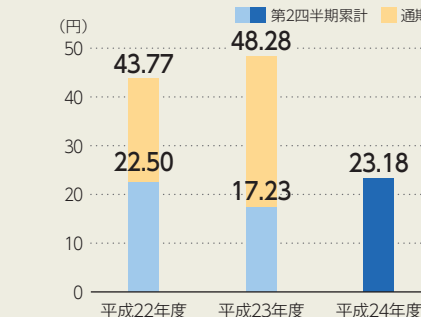
売上高



営業利益



1株当たり当期純利益



POINT① 資産合計

販売用不動産の取得に伴うたな卸資産の増加及び太陽光発電事業設備の完成に伴う機械・運搬具の増加等により、21,970百万円（前連結会計年度末は20,958百万円）となりました。

POINT② 負債合計

太陽光発電事業の開始に伴い長期借入金が増加したこと等により、14,046百万円（前連結会計年度末は13,313百万円）となりました。

POINT③ 純資産合計

四半期純利益による利益剰余金の増加等により、7,924百万円（前連結会計年度末は7,644百万円）となりました。

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別 前第2四半期 (平成23年 6月30日)	当第2四半期 (平成24年 6月30日)	前連結会計年度 (平成23年12月31日)
資 産 の 部			
流 動 資 産	7,943,938	7,065,485	6,796,290
固 定 資 産	12,772,108	14,905,269	14,162,070
有 形 固 定 資 産	11,494,260	13,542,245	12,827,799
無 形 固 定 資 産	28,799	33,975	27,011
投 資 そ の 他 の 資 産	1,249,047	1,329,049	1,307,259
① 資 産 合 計	20,716,046	21,970,754	20,958,360
負 債 の 部			
流 動 負 債	7,656,182	7,296,688	6,947,790
固 定 負 債	5,805,400	6,749,360	6,365,777
② 負 債 合 計	13,461,583	14,046,049	13,313,567
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	6,340,098	6,845,836	6,636,000
資 本 金	764,815	764,815	764,815
資 本 剰 余 金	705,825	705,825	705,825
利 益 剰 余 金	4,977,288	5,483,026	5,273,189
自 己 株 式	△107,829	△107,829	△107,829
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	△11,934	△2,649	△17,232
少 数 株 主 持 分	926,298	1,081,518	1,026,025
③ 純 資 産 合 計	7,254,462	7,924,705	7,644,792
負 債 純 資 産 合 計	20,716,046	21,970,754	20,958,360

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別 前第2四半期累計 (平成23年 1月1日から 平成23年 6月30日まで)	当第2四半期累計 (平成24年 1月1日から 平成24年 6月30日まで)	前連結会計年度 (平成23年 1月1日から 平成23年12月31日まで)
売 上 高	12,558,292	12,425,335	25,612,304
売 上 原 価	9,653,769	9,387,540	19,651,838
売 上 総 利 益	2,904,522	3,037,794	5,960,465
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,367,207	2,463,219	4,674,198
④ 営 業 利 益	537,314	574,574	1,286,267
営 業 外 収 益	29,992	30,116	54,288
営 業 外 費 用	48,168	57,462	93,475
④ 経 常 利 益	519,138	547,229	1,247,080
特 別 利 益	40,668	515	85,876
特 別 損 失	145,595	6,578	166,246
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	414,211	541,166	1,166,710
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	198,922	223,417	478,976
過 年 度 法 人 税 等	—	—	19,313
法 人 税 等 調 整 額	—	—	13,750
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	215,289	317,748	654,670
少 数 株 主 利 益	26,834	64,158	126,561
④ 四 半 期 (当 期) 純 利 益	188,454	253,589	528,109

(注)1.記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2.四半期の税金費用については、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	期 別 前第2四半期累計 (平成23年 1月1日から 平成23年 6月30日まで)	当第2四半期累計 (平成24年 1月1日から 平成24年 6月30日まで)	前連結会計年度 (平成23年 1月1日から 平成23年12月31日まで)
⑤ 営 業 活 動 に よ る キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	474,154	688,955	1,578,766
⑥ 投 資 活 動 に よ る キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	△104,181	△791,587	△431,331
⑦ 財 務 活 動 に よ る キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー	△204,388	242,102	△633,485
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 増 加 額	165,584	139,470	513,950
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 期 首 残 高	868,548	1,382,498	868,548
現 金 及 び 現 金 同 等 物 の 四 半 期 末 (期 末) 残 高	1,034,133	1,521,969	1,382,498

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

POINT④ 利益

住宅事業セグメントにおいて販売費及び一般管理費が増加したものの、同セグメントにおいて売上高が増加した影響から、連結営業利益は前年同期比6.9%増の574百万円、連結経常利益は前年同期比5.4%増の547百万円となりました。また、連結四半期純利益につきましては、前連結会計年度に資産除去債務会計基準の適用に伴う特別損失を計上した影響から、前年同期比34.6%増の253百万円となりました。

POINT⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

たな卸資産の増加566百万円等の減少要因がありますが、税金等調整前四半期純利益541百万円、売上債権の減少468百万円及び減価償却費278百万円等により、資金は688百万円の増加（前年同四半期は474百万円の増加）となりました。

POINT⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の売却による収入205百万円の増加要因がありますが、有形固定資産の取得による支出996百万円等により、資金は791百万円の減少（前年同四半期は104百万円の減少）となりました。

POINT⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出437百万円及びリース債務の返済による支出109百万円等の減少要因がありますが、長期借入れによる収入761百万円等により、資金は242百万円の増加（前年同四半期は204百万円の減少）となりました。

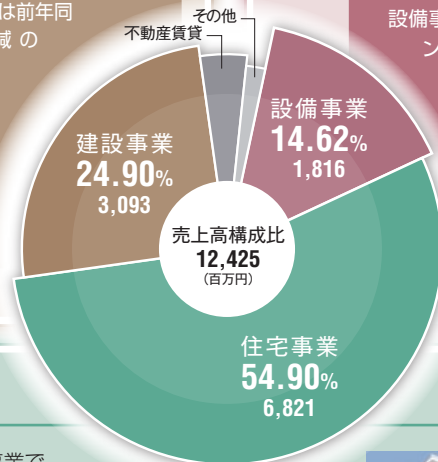
建設事業

建設事業は、美樹工業の原点です。創業以来約60年にわたり施工を通じて発注者との信頼関係を深め、コンスタントな受注獲得、特命受注、シリーズ化工事を進めてまいりました。スポット受注が大勢を占める建設業界において、業績の安定化、他社との差別化につながっています。



部門別概況

建設事業につきましては、建築土木工事において当期の受注は好調に推移したものの、前連結会計年度からの繰越工事が少なかった影響等から、売上高は前年同期比22.4%減の3,093百万円、営業利益は前年同期比27.4%減の189百万円となりました。



設備事業

設備事業は、大阪ガス(株)の指定工事会社としてガス内管工事・ガス機器等の販売施工を行うとともに、生活に欠かせない給排水衛生設備や空調設備工事も行っております。また、連結子会社三樹エンジニアリング(株)では、大阪ガス(株)のサービスショップとして、エコウィルやガスヒーポン、カワック、温水床暖房などの販売を行っております。



部門別概況

設備事業につきましては、連結子会社である三樹エンジニアリング(株)において、収益性の高い工事完成があった影響等から、売上高は前年同期比7.0%増の1,816百万円、営業利益は前年同期比10.6%増の107百万円となりました。

住宅事業

当社グループの大きな柱へと成長した住宅事業では、当社におきましては「W発電(エコウィル+太陽光発電)住宅」「2.5階建」「外断熱工法」といった戸建住宅の販売、土地分譲を行うとともに、連結子会社セキスイハイム山陽(株)におきまして、積水化学工業(株)のユニット住宅「セキスイハイム」「セキスイツーユーホーム」の販売、施工を行っております。



部門別概況

住宅事業につきましては、連結子会社であるセキスイハイム山陽(株)において、前年同期と比較して引渡棟数が増加した影響により、売上高は前年同期比8.0%増の6,821百万円となりました。営業利益につきましては、連結子会社であるセキスイハイム山陽(株)において、人員の増加に伴い販売費及び一般管理費が増加したものの、売上高増加の影響により、営業利益は前年同期比59.0%増の203百万円となりました。

TOPICS

新規事業への進出

『美樹工業つくばメガソーラー発電所』
(茨城県つくば市)

再生可能エネルギー固定価格買取制度(※)が施行される平成24年7月1日に営業運転を開始いたしました。

最大出力規模は約2.0メガワット、一般住宅約500戸分の年間消費電力に相当する約180万キロワットの年間発電量を見込んでおります。

(※) 再生可能エネルギー源(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス)を用いて発電された電気を、一定の期間・価格で電気事業者が買い取ることを義務付けるもの



(平成24年6月11日 竣工式)



(美樹工業つくばメガソーラー発電所 全景)

平成23年12月 着工
平成24年 6月 竣工
平成24年 7月 営業運転開始

完成工事一覧

工事名	施主名
国道2号枝吉地区歩道 改良工事	近畿地方整備局
垂水宿舍等 修繕工事	近畿地方整備局
第一東和会病院 増改築工事	医療法人東和会
介護老人保健施設白寿苑 衛生設備改修工事	特定医療法人社団順心会
特別養護老人ホーム和好苑 新築工事	社会福祉法人ひめじ福寿会
かんまき和光保育園 新築工事	社会福祉法人恭生会
全農鳴尾浜食品施設 解体撤去工事	全国農業協同組合連合会
ケアサービス神姫あおやま 新築工事	(株)ホープ



▲ 第一東和会病院 増改築工事



▲ かんまき和光保育園 新築工事



受注工事一覧



▲ ケアサービス神姫あおやま 新築工事

工事名	施主名
姫路家畜保健衛生所 建築工事	兵庫県
姫路家畜保健衛生所 機械設備工事	兵庫県
神戸大学ライフサイエンスラボラトリー等改修その他機械設備工事	国立大学法人神戸大学
第一東和会病院 改修工事	医療法人東和会
特別養護老人ホーム浜市ホーム 新築工事	社会福祉法人玄武会
日本丸天醤油(株)事務所 新築工事	日本丸天醤油(株)
(株)ホンダカーズ兵庫宝塚中央店 建替工事	本田技研工業(株)
加古川平野マンション 新築工事	セキスイハイム山陽(株)
細江団地 造成工事	セキスイハイム山陽(株)

■株主優待制度のご案内

- 1 対象株主**
毎年6月30日及び12月31日時点で、1単元（1,000株）以上保有の株主様を対象といたします。
- 2 優待内容**
1単元以上保有の株主様に対し、(株)サラダコスモの商品の詰め合わせ（国産ちこり、緑豆もやしなど）をお届けします。
- 3 お届け時期**
9月末頃と3月末頃の発送を予定しております。



※内容が異なる場合がございます。

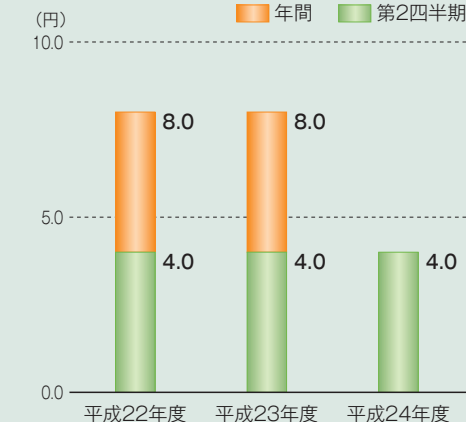
利益配分に関する方針

配当金について

当社は、企業価値のさらなる向上を目指しながら株主の皆様へ適切な利益還元を行うことを経営上の重要課題と位置づけしており、安定的かつ継続的な利益配分と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実により安定した経営基盤を築くことで企業体質の強化を図ることを基本方針としております。

これらを総合的に勘案した上で、当社は平成24年12月期第2四半期の利益配当を1株当たり4円といたします。また、平成24年12月期末の配当予想につきましても、1株当たり4円とし、年間で8円といたします。

配当金



会社情報

商号 美樹工業株式会社
 英文商号 MIKIKOGYO CO., LTD.
 設立 昭和37年1月
 資本金 7億6,481万円
 従業員数 231名
 主な取引銀行 三菱東京UFJ銀行
 三井住友銀行
 みずほコーポレート銀行
 りそな銀行
 トマト銀行

役員

取締役会長 三木茂克
 取締役社長 岡田尚一郎
 専務取締役 上迫良人
 常務取締役 中田純夫
 常務取締役 小西克典
 常務取締役 大谷恵一
 取締役 安川武雄
 取締役 福本猛虎
 取締役 田中正宏
 取締役 永井孝信
 取締役 中野二郎
 監査役 松岡繁明
 監査役 高谷日出男
 監査役 吉田基

事務所

本店 兵庫県姫路市東延末二丁目50番地
 大阪支店 大阪市中央区淡路町4丁目4-11
 神戸支店 神戸市中央区港島中町1丁目1-3

株式の情報

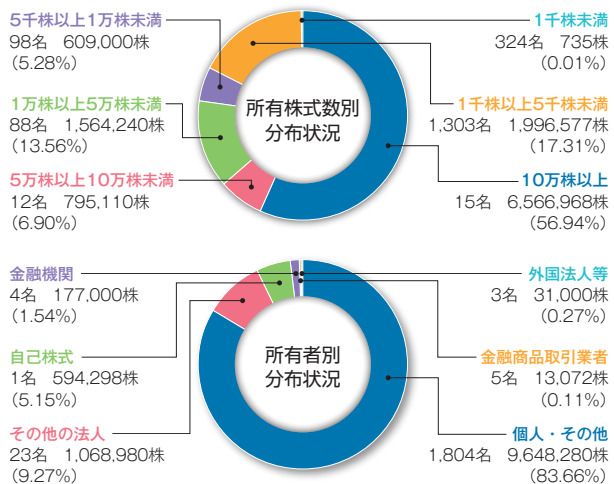
発行可能株式総数 : 40,000,000株
 発行済株式の総数 : 11,532,630株
 株主数 : 1,840名

大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
三木茂克	2,352,920株	20.40%
有限会社フレンド商会	706,980株	6.13%
三木佳美	593,970株	5.15%
美樹工業社員持株会	287,370株	2.49%
黒田幸三	281,860株	2.44%
平野勝也	268,000株	2.32%
三木博也	241,220株	2.09%
中田純夫	236,500株	2.05%
白石満雄	226,000株	1.95%
三木立子	206,210株	1.78%

(注1) 持株比率は、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。
 (注2) 上記のほか、自己株式が594千株あります。

株式分布



株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 3月中
 配当金受領株主確定日 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日
 株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関) 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同連絡先 〒541-8502 大阪府大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話：0120-094-777 (通話料無料)
 上場市場 大阪証券取引所JASDAQ市場
 公告掲載新聞 日本経済新聞
 貸借対照表及び損益計算書にかかる情報は当社ホームページに掲載しております。
 当社ホームページ：http://www.mikikogyo.co.jp/

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金受領方法のご指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



美樹工業株式会社

<http://www.mikikogyo.co.jp/>